

隠岐病院
MRI機器調達事業者選定
提案書作成要領

令和8年3月3日

1 はじめに

この要領は、隠岐病院MRI機器調達事業者選定に係る公募型プロポーザルにおける提案書の作成方法等を定めたものである。

提案書の作成に当たっては、本件業務に係るプロポーザル実施要領、仕様書及び質問に対する回答を熟知の上、創意工夫のある提案を行うこと。

提案された内容は、事業者候補者と締結する契約の仕様として整理し、契約書の一部となるので、必ず実行可能な内容となるよう留意すること。

2 作成に当たっての留意事項

(1) 提案書は次の項目により評価を行う。

1. MRI機器本体（性能評価）	①ガントリ・マグネットシステムについて
	②傾斜磁場システムについて
	③RFシステム、RFコイルについて
	④患者寝台について
	⑤制御システムおよび本体操作コンソール・撮像支援機能について
	⑥基本的撮像及び処理機能について
2. 周辺備品について	
3. サービス体制・保守体制について	
4. 機器の導入について	
5. 整備スケジュールについて	
6. サポート体制について	
7. 自由提案	

(2) 提案書は「隠岐病院MRI機器調達事業者選定に係る公募型プロポーザル提出資料チェック表」に記載の順番に重ねて提出すること。

(3) 提案書は、当院が設置する隠岐病院MRI機器調達選定委員会が正確に審査できるよう、明瞭かつ簡潔に記載すること。

(4) 提案書様式第2号の1に関して、「回答」欄には機能等項目に対する可否を記載し、「方法・方式」欄には、その具体的な内容を記載すること。その際、回答が「不可」の場合で、代替案が存在する場合は、「方法・方式」欄に記載すること。また、提案する機器の構成を示した図（機器構成図）を作成し、本様式に添付すること。

なお、機器構成図の作成にあたっては、どの評価項目がどの機器等と対応しているか、分かりやすくなるよう留意すること。

(5) 文書を補完するための最小限のイメージ図、イラスト、グラフ等の使用は可とする。

(6) 各項目の補足資料として、マニュアル、指針等の写しを付加する必要がある場合は、参考資料として添付できるものとする。

- (7) 添付資料は別冊とし、提案書のどの項目に対応するものか明示すること。
- (8) 提案書様式第2号の3については、提案内容が、基本仕様確認書記載の要件を満たすことを確認し、「確認」欄に「○」を記載すること。

3 見積書の作成

- (1) 見積書（提案書様式第4号の1）は、その積算の根拠となる積算内訳書（提案書様式第4号の2）と整合性がとれていること。
- (2) 見積書はプロポーザル実施要領に記載の予定価格以内であること。

4 保守費用について

- (1) 導入から10年間の保守費用について、見積書（見込）提案書様式第5号を提出すること。
- (2) 機器納入検査実施日から1年間は無償保証期間とする。